

新宮山彦ぐるーぷ第2133回

行仙宿補給路の第2ベンチ増設と行仙宿整備

◇実施日… 2021年5月28日(金)

晴

◇参加者… 沖崎吉信、梶野照雄、山川治雄、高階美根子

4名

行仙宿補給路の第2ベンチ付近が伐採されて日陰が無くなり、これから日差しが強くなると休憩するのが暑くなる。と山川さんがベンチの増設を提案され、梅雨の晴れ間を狙ってこの日に実施した。沖崎さんは白谷林道の調査に向かい、時間に余裕があれば行仙に行く、とのことだった。



荷物を積みこむ



荷台より長い板



丸太を運ぶ

午前10時、沖崎さんを除く3名が登山口に集合。杉丸太を切つてベンチの足を作る。切った丸太4本と座面の板2枚、ザックなどを積みモノレール終点に向かう。山川さんと高階さんは歩いて登られた。



完成したベンチ2基

グレーカーを外す

終点に着いて荷物を全部おろし、丸太の足2個を背負子で第2ベンチまで運ぶ。運び終えて戻る途中で高階さんが丸太一個を抱えて登ってきた。その後ろから山川さんが座面の板一枚を持って登ってきた。この板は長さ2m強、厚さが7cmほどあり、重さは20kgほどある。運ぶ距離は短い、一人では大変だ。

終点に戻り残りの丸太一個とザックを背負子につけ、高階さんと二人で座面に板を運び始めた。10mほど進んだところで山川さんが降りてきて、一人でこの板を運んでくださった。

既設の第2ベンチの向かい側2ヶ所にベンチを作ることにして、支障雑木を切除し、地面を均す。地面は水平ではないので、足を2

0 cmほど切って、座面がほぼ水平になるようにした。

座面の板と足の取り付けは、以前役行者像開眼供養の時に作ったベンチと同じ方法、コーチスクリューでのネジ止めにした。

取り付けが終わったが、地面が柔らかいので少しグラつく。杭を打ってネジ止めしよう、ということになりハンマーを取りに車に戻った。

モノレール車庫付近まで降りてくるとどこからか声が聞こえた。前を向いているので気付かなかったが、すぐ後ろに沖崎さんが立っていた。白谷林道は落石も無くスムーズに通行でき、思いのほか早く調査が終わったとのことだった。



交換済

端子がサビたブレーカー

薪を補充

ハンマーと沖崎さんに乗せて終点に向かう。伐採された臓器を切つて杭を作り、ハンマーで打ち込んでネジ止めして固定した。地面が柔らかいので、これだけではまだ安定していない。ベンチの固定と背もたれの追加が次回の宿題となった。

4人で行仙宿に向かう。12時半に行仙宿到着。昼食を済ませて発電機室のブレーカーを交換する。23日に発電機を動かして掃除機を使っている時、2回ブレーカーが落ちた。掃除機しか使わなかったのに突然ブレーカーが落ちるので、そろそろ寿命とみて、新しいものに交換した。取り外したブレーカーの端子部分はサビていた。



宿泊者の応対

本日の参加者

下山中

薪置き場に薪を補充し、宿泊者1名の対応、写真を撮って下山した。
(記：梶野)

行動タイム

登山口 10:21→10:50 第2ベンチ 12:08→12:30 行仙宿 14:10→14:45 登山口